

# 2月の消防広報重点事項

発行 令和5年1月13日  
盛岡市危機管理防災課  
編集 盛岡中央消防署

## 令和4年の火災・救急の状況について

### 1 火災の状況

令和4年中の盛岡市における火災件数は30件で、前年に比べ19件減少しています。

また、火災による死者数は4人で、前年に比べて2人減少しています。

火災原因は、「電気装置」及び「放火・放火の疑い」による火災で3件と最も多く、次いで、「たばこ」、「こんろ」の順となっています。

	令和4年	令和3年	比較増減
火災件数	30	49	-19
死者	4	6	-2
負傷者	10	11	-1

令和4年				令和3年			
火災原因	件数	割合(%)		火災原因	件数	割合(%)	
第1位 電気装置	3	10.0		第1位 放火・放火の疑い	9	18.4	
第1位 放火・放火の疑い	3	10.0		第2位 たばこ	8	16.3	
第3位 たばこ	2	6.7		第3位 ストープ	6	12.2	
第3位 こんろ	2	6.7		第4位 こんろ	4	8.2	

### 2 救急の状況

令和4年中の盛岡市における救急出動件数は12,558件で、前年に比べ992件増加しています。

また、救急搬送人員は11,670人で、前年に比べ785人増加しています。

	令和4年	令和3年	比較増減
救急出動件数	12,558	11,566	+992
救急搬送人員	11,670	10,885	+785

### 3 過去5年間の火災件数及び救急出動件数の推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
火災件数	36	40	30	49	30
救急出動件数	11,676	11,909	10,885	11,566	12,558

## 住宅用火災警報器の交換はお済みですか？

平成18年6月1日から、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、設置期限の平成23年5月31日から今年で11年目を迎えました。

製造から10年以上経過した住宅用火災警報器は、電子部品の寿命や電池切れにより火災を感知しない事があるため、ご自宅に設置している住宅用火災警報器が正常に作動するかチェックし、10年を目安に本体の交換をしましょう。

### ★ 住宅用火災警報器とは？

火災を感知する機能と警報を発する（知らせる）機能がセットになっているもので、簡単に取り付けることができるコンパクトな火災警報器です。

### ★ チェックのポイント

- ① 住宅用火災警報器のチェック方法は、ひも式とボタン式があり、機種によって異なります。「引きひもを引く」又は「ボタンを押す」ことで警報音が鳴るか確認しましょう。
- ② 住宅用火災警報器のチェックは、定期的に確認をする時期を決めておく心安心です。また、最低、年に1回は必ずチェックを行いましょ。
- ③ 住宅用火災警報器のチェックをするときは、どんな警報音が鳴るかを家族で確認しましょう。

### ★ お手入れのポイント

- ① 住宅用火災警報器にホコリなどが付くと、火災を感知しにくくなります。乾いた布で拭き取りましょ。  
また、汚れなどが目立ってきた場合は、中性洗剤を浸して十分に絞った布で外の汚れを拭き取りましょ。
- ② 機器を水洗いしたり、分解したりすると故障の原因になりますので、しないようにましょ。
- ③ ベンジンやシンナーなどは絶対に使わないでください。

**あなたの手で  
ご自身の命と大切な家族を  
火災から守りましょ。**

## 令和4年12月中の火災3件の内訳

12月14日	盛岡市本町通二丁目	車両1台焼損
12月16日	盛岡市盛岡駅西通二丁目	車両1台焼損
12月30日	盛岡市加賀野三丁目	車両1台焼損